

1. 八 戸 海 岸 局

I 事業目的

試験船，取締船並びに一般漁船との間に，漁業指導監督通信を行うことにより，人命財産の保全，航行の安全，海難の防止，漁場の適正管理，操業秩序の維持による漁業生産の向上安定を図る。

II 事業内容

1. 実施期間 昭和50年4月1日～昭和51年3月31日

2. 交信海域 世界全域

3. 担当者 局長 佐々木 光 男

主任 尾 崎 義 隆

主任 目 時 利 悦

技 師 日下部 恒 雄

他に青森県無線利用漁業協同組合通信士8名

4. 取扱通信種別

(1) 漁業指導監督通信

イ，鮭鱒漁場位置漁獲報告通信 (水産庁関係)

ロ，秋刀魚調整通信 (")

ハ，いか，鯖調整通信 (")

ニ，きはだ漁獲規制通信 (")

ホ，日韓共同水域位置報告通信 (")

ヘ，漁海況，水温報告周知通信 (")

ト，北転助宗規制通信 (")

チ，北方海域位置報告通信 (海保関係)

リ，南方海域 R点海域位置報告通信 (")

ヌ，E170°以東位置報告通信 (")

ル，流水観測通報通信 (")

ヲ，濃霧情報通信 (")

ワ，北海道底曳入合報告通信 (北海道庁関係)

カ，かに規制報告通信 (")

コ，気象観測報告通信 (気象庁関係)

タ，試験船，調査船，練習船，監視船，巡視船等との指導監督通信

(2) 航行警報，周知関係通信

(3) 遭難，緊急，安全通信

(4) 保安，要急通信

(5) 気象通信

(6) 非常通信 (A1 4630KH2)

- (7) 漁況，市況放送
- (8) 漁業専用通信
- (9) 内航専用通信
- (10) 公衆無線電報

5. 通信方式

- (1) 無線電信，電話による送信受信
- (2) 遭難用周波数（電信2091KHz，電話2182KHz，超短波27524KHz，非常波4630KHz）の常時無休聴守
- (3) 八戸電報電話局直通ファックス送信受信。
- (4) 通信所送信所間有線リモートコントロール

6. 勤務形態

通信所，送信所とも常時交替勤務

Ⅱ 事業結果

1. 管内船舶局数

年月日 \ 局数	電信（局）	電話（局）	准加入（局）	計（局）	備 考
昭50. 3. 31 現在	79	494	電信 9 電話 22	604	
昭51. 3. 31 現在	74	469	電信 9 電話 27	579	
前 年 比	93%	94%	100% 122%	95%	

2. 管内船舶局無線従事者選任状況

年月日 \ 資格	電信級	電話級	特技甲	特技レーダー	計
昭50. 3. 31 現在	98人	430人	45人	37人	610人
昭51. 3. 31 現在	89人	426人	30人	28人	573人
前 年 比	90%	99%	66%	75%	94%

3. 管内船舶局，無線従事者選任，解任証明件数

年月日 \ 選解任別	選 任	解 任	備 考
昭50. 3. 31 現在	397人	439人	
昭51. 3. 31 現在	378人	415人	
前 年 比	95%	94%	

4. 諸証明件数

(1) 出漁海域証明	5 5 件
(2) 周波数増設証明	1 7 件
(3) 電報内容証明	2 4 件
(4) 通信士免許再交付申請	1 2 件

5. 文書取扱実績

収 受	8 5 1 件
発 送	3 6 6 件

6. 講習, 訓練, 業務指導等実施状況

(1) 特殊無線技士レーダー級養成講習

期 間 昭和5 0 年4 月3 日～1 0 日

会 場 八戸市鮫町, 八戸漁連研修所

人 員 受講4 9 名, 合格4 4 名

(2) 特殊無線技士, 無線電話甲及びレーダー級養成講習

期 間 昭和5 1 年3 月1 7 日～3 月3 1 日

会 場 八戸市鮫町, 八戸漁連研修所

人 員 無線電話甲, 受講5 4 名, 合格5 2 名

レーダー級 受講4 8 名, 合格4 8 名

(3) 実務講習（新免許受領者対象）2 回 9 6 名

(4) 非常無線通信訓練

使用電波 電信 4 6 3 0 K H z

実施期日 5 月1 3 日～1 4 日 0 9 0 0 ～1 6 0 0

7 月1 7 日～1 8 日 1 3 3 0 ～2 1 3 0

7 月3 0 日～3 1 日 0 9 0 0 ～1 6 0 0

(5) 各種通信, 会議, 委員会, 反省会, 業務打合会, 総会等1 2 4 回 延約2 0 0 0 名

(6) 広報発行 2 回 1 4 0 0 部

(7) 各漁種毎に通信の迅速合理化のための略号作成交付並びに名簿作成等を行う等関係団体（通信士会）の指導強化を行った。

7. 取扱通信実績

（沈黙時間, 割当時間の聴守等, 聴守のみで電報の送受を行わなかった時間は含まない。又, ファックスによる送受信時間及び件数も含まない。）

種別	区分	通数 (件数)	時間 (分)	1 日 平 均		備考
				通数 (件)	時間 (分)	
漁業通信						
送	信	9,269		25.4		
受	信	126,285		346.0		
小	計	135,554	87,986	371.4	241.0	
気象通信		2,175	5,190	5.9	14.2	
漁況放送		365	4,635	1.0	12.7	
指導監督調整						
通	信	34,339	35,702	94.1	97.8	
事故通信		72	1,481	0.2	4.1	
小	計	36,951	47,008	101.2	128.8	
内航通信						
送	信	1				
受	信	336				
小	計	337	2,975	0.9	8.2	
公衆通信						
送	信	2,865				
受	信	5,341				
小	計	8,206	15,391	22.5	42.2	
総 計		181,048	153,360	496.02	420.16	
前年度計		164,801	146,551	451.4	401.5	
前年度比		109.85%	104.64%	109.81%	104.64%	

Ⅳ 事業の成果及び今後の課題

1. 事業の成果

- (1) 漁業における諸無線通信、市況、漁況諸放送並びに諸計器の利用により漁業経営の安定合理化、生産性の向上並びに海難防止に寄与した。

(2) 無線従事者養成講習（特技甲を2回、レーダー級1回）を行い、無線従事者不足の解消に寄与した。

(3) 関係諸団体の指導強化と関係官署の連繫により法違反の防止に寄与した。

2. 今後の課題

(1) 県職員の増員

(2) 海岸局の移転

(3) 海岸局移転に至るまでの送受信所間リモートコントロール方式の新替

(4) 水産業危機に対応し、生産向上のための無線関係合理化対策

(5) 無線組合との業務提携に関する検討

(6) 無線従事者の養成充足

(7) 法違反撲滅対策強化